

## 平成26年度 第3回安曇野市図書館協議会

1	審議会名	平成26年度 第3回安曇野市図書館協議会
2	日 時	平成26年11月26日 午前10時から午前11時50分まで
3	会 場	穂高交流学習センターみらい 多目的交流ホール
4	出席者	内田会長、田村副会長、渡邊委員、銭坂委員、隠岐委員、山田委員、三沢委員、川名委員、福澤委員
5	市側出席者	赤羽図書館交流課長兼中央図書館長、青柳豊科図書館長、清水三郷図書館長、勝野堀金図書館長、百瀬明科図書館長、小林図書館交流課課長補佐、沖図書館交流課主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年11月30日

1 開会 (赤羽図書館交流課長)

2 あいさつ (内田会長)

3 協議事項

(会長)

それでは、(1)平成26年度図書館フェスタ&図書館フェスタウィークについて、事務局から報告をお願いします。

(1)平成26年度図書館フェスタ&図書館フェスタウィークについて【事務局】

9月6、7日に、ここ穂高交流学習センターで図書館フェスタを開催。日頃図書館をご利用いただいている方はもちろん、図書館を利用いただけていない方にも図書館を知っていただく機会にさせていただくために、毎年9月第1週目の土日に開催しております。今年度は、穂高交流学習センター開館5周年を記念し、例年の土日に加えて、9月2日(火)から7日(日)までを「図書館フェスタウィーク」と題して、市内5図書館統一事業として、カードケースやブックコートサービス、そして、家庭で不要となった本をご提供いただき、「図書リサイクルコーナー」を例年より早く開設しました。2日間通し、様々なイベントを用意し、大勢の皆様にご来館していただきました。

メインイベントの2日間の来場者数ですが、6日が1,836人、7日が1,768人、合計3,604人の方にご来館していただきました。昨年より150人ほど多い来館者となっております。

来年に向け、さらに多くの方に図書館を利用するきっかけとして、図書館フェスタを開催できればと考えております。

(会長)

アンケートをとっていただいておりますが、多くの女性が参加しているとの報告を受けました。男性が多く参加できる企画等を考えていただければと思います。本を読むのに男性も女性もかわらないと思いますので、ぜひ、男性が参加しやすい企画を計画していただけるとうれしいと思います。

他になければ、「図書館フェスタ」について、ご理解いただいたということをお願いします。

それでは続いて「(2)平成27年度事業計画について」を議題とします。図書館ごとにご説明をお願いします。

(2)平成27年度事業計画について【各図書館長より説明】

(会長)

事務局からの説明が終わりましたので、ここで質問、ご意見、ご提案などありましたお受けしたいと思います。

(委員)

これから超高齢化社会に入りますが、健康保持増進に関しましては、教室などで年配の方が多く参加していますが、脳の活性化と言いますか、来年度、高齢者にも力を注いでいただきたいと感じます。また、堀金図書館で話がありましたが、日頃仕事をしていて中々読書に向かうということも難しいかもしれませんが、成人の方に視点を当てることも必要だと思えます。そして、図書館フェスタの関係ですが「なぜ、男性の参画が少ないのか」という実態を把握した上でアクションを起こしていかなければならないと思います。

(会長)

図書館フェスタに限らず、本を読む時間は男性のほうが少ないのかなと思います。このことについて委員の皆さんから何かございますか。

(委員)

この会議が始まる30分前に中央図書館に行ってきました。高齢者の方が大勢来館されているなという印象を持ちました。それから若いお母さんたちもたくさんいました。やはり日々安曇野市の図書館の中でいろんなご努力をされているなど、日常活動をやっているなという第一印象でした。平成13年度に文部科学省生涯学習政策局長の通達で「望ましい図書館設置と、望ましい図書館の運営の基準について」の中に、「高齢者、障がい者の利用度を促進する」ということが掲げられていました。高齢者の方がフェスタの参加は難しいかもしれませんが、日常活動の中でかなり図書館を利用されています。平安堂では座り込んで売っている本を読んでいる方がいますが、図書館にたくさん来てくれたらと思います。委員が言われるように高齢者や障がい者を対象にしたものも必要かなと思います。まず、日常活動を充実させていく中でそういったことに少しづつ膨らましていったらと思います。

(委員)

先ほどフェスタのアンケートによると、30.40代の女性が多いと言っていました。おはなし会などはお母さんとの子ども連れが多いかと思います。最近では、男性のお父さんがお子さん2、3人連れて読み聞かせに来る方が増えてきました。松本で「男性の読み聞かせ」ということをやっているようです。そういったことが普及してくると男性の関わりも増えてくるのかなと思います。それと、私はまだ見たことがありませんが「ビブリオバトル」が盛んに行われているとお聞きしたり、映像で見たりしました。映像を見るとわりと男性が多かったです。男性向きのテーマで開催したらどうかと思います。

(会長)

今、委員さんから様々なご提案をいただきましたので、事務局で検討していただき、男性が参加できる事業を検討していただけたらと思います。

それでは、平成27年度事業計画については、承諾したということをお願いします。

「(3) その他」ですが、何か委員よりございますでしょうか。

(3) その他

(委員)

質問ですが、学校図書館支援事業について、市としてどのようにして現状分析をして、今後進めていかれるか伺いたいと思います。

(事務局)

学校連携につきましては、昨年25年度から様々な形で取り組みをしており、今後さらに学校との連携を深めていきたいと考えております。現在、安曇野市では、これから建設する堀金・三郷図書館の新しい図書館の計画づくりや図書館運営については様々な提案をいただくため、コンサルをお願いをしております。そして、この学校連携につきましても平行して検討を進めております。学校と公共図書館がどう連携を図っていくか。一番の目的は、学校の児童・生徒さんの読書活動を今以上に活発にしたいということです。これを進める上で、どのような方策があるかということも現在模索している段階です。そこで、まずは学校図書館の実態について把握し、現状に合わせたサービスをこれからどのように計画していくかということも研究していきたいと考えております。現状を調査し、その実態の中からどのような事業を取り入れられるかをコンサルから提案をいただき、現場の皆さんと相談しながら進めていきたいと考えております。現場の皆さんと一緒に、これからの安曇野市にとってどのような事業を展開していくのが望ましいかを相談させていただき、27年度に向けてさらにご提示していきたいという内容です。

(会長)

ほかにご意見等ありますか。無ければ、本日ご協議いただいた内容に沿って改善を図っていただきたいと思います。

それでは、最後に「4. その他」ということで、事務局からお願いします。

#### 4 その他【事務局より説明】

(事務局)

(1) 新堀金図書館・新三郷図書館について

「堀金図書館」と「三郷図書館」が来年度以降新しくなっていくということで、開館に向けて取り組みをしているところです。今年7月の協議会でも新しい図書館について説明をさせていただきましたが、その後の進捗状況について説明させていただきます。まずは「堀金図書館」ですが、一階が堀金支所、2階が堀金図書館、3階が堀金公民館という整備を進めることになっています。今年度実施設計を行っています。堀金図書館について、1回の地元説明会と2回の市民ワークショップを経て、色々なご意見をいただいた中で、実施設計の中で反映させていきたいと考えております。この中で検討しているのが、入口側の児童コーナーと奥の一般書コーナーを入れ替えるということで設計者と打合せを行っております。奥には畳の部屋があり、ここを「おはなしのへや」として活用し、トイレも大人用と子ども用を奥に整備したいと考えております。また、ご提案をいただきましたが、お父さんのお子様連れ用として、例えば「イクメン室」という名称で、お父さんでもおむつ替えができる部屋として利用できるようにしたらどうかと考えています。また、交流学习センター運営委員会、生涯学習推進会議の中でもご意見をいただいておりますが、堀金を除く4地域については交流学习センターという位置づけになっておりますが、堀金は交流学习センターの名称には現時点ではなっておりません。しかし、5地域同じように交流学习センターとして統一してほしいという要望をいただいておりますので、前向きに検討していきたいと考えています。

続いて、三郷図書館ですが、3回のワークショップを開催し「できる限りゆったりとしたスペースを確保してほしい」という要望がありました。現在、12月議会に実施設計の補正予算を上げており、議決されますと、年明け早々には実施設計に入りまして、来年度一杯かけて、実施設計をまとめていく予定です。今後の実施設計の中で、市民の皆さんと、ワークショップ等を開催しご相談しながら最終的に決定していきたいと考えています。

#### (2) 三郷図書館移設について

来年度三郷公民館耐震工事に伴い、三郷図書館が開館できなくなります。そのため、三郷図書館については、新しい三郷交流学习センターができるまで、2年半ぐらいの期間があります。この間、三郷支所の向かいに文化公園体育館の一角を利用して仮設の図書館を運営したいと思っております。ラウンジ内一角の約100㎡を利用して、若干手狭になりますが、ラウンジの中に開架部分と閉架部分をおさめて、運営をしていきたいと考えております。仮設図書館の囲いについては今年度の予算で設置させていただきます。来年度早々には、現在の三郷図書館の書架等を文化公園体育館に移設し、間に合い次第、配架していきたいと考えています。約2年半から3年弱、三郷文化公園体育館で仮設図書館ということで運営をしていきたいと考えています。ご承知いただきたいと思っております。

#### (3) 本のお年玉について

「本のお年玉」です。来年1月実施に向け準備をしております。全館で実施。英字新聞で中身を見えないように3冊程度の本を包装し貸出を行うものです。

#### (4) 安曇野まちなか図書館について

「安曇野まちなか図書館」です。主催は安曇野まちなかカレッジ実行委員会で行っていきまして、11月15日から穂高駅を中心とした17の店舗が参加して、それぞれの店舗の中に図書を置き、訪れた方がそこで本を読むことができるというものです。

#### (5) 防犯カメラの設置について

(中央図書館長)

「安曇野市防犯カメラの設置及び運用に関する規則」に沿いながら、必要最小限として進めていきたいと思っております。穂高交流学习センターには全体で15台ということですが、内訳は既設が2台、新設が13台となっております。その内、穂高交流学习センターの交流学习機能に既設が2、新設が5台、図書館に8台という予定になっております。図書館内には出入口や書架で死角にならないように配置を考えています。早ければ年内に設置し、年明けには運用という形を考えております。

(会長)

事務局からいくつかの報告事項がありましたが、ご質問やご意見等をお受けしたいと思っております。

(委員)

堀金の図書館整備についてですが、ぜひ「交流学习センター」という名称にしてほしいと思っております。また、新しい堀金図書館内に男性がおむつを替えられる場所をとという話がありましたが、ぜひ、お願いしたいと思っております。

(会長)

委員さんから、説明があったことについて進めていただくよう要望がありました。ぜひ、事務局で検討してほしいと思っております。ほかにございますでしょうか。

(委員)

「望ましい図書館設置と、望ましい図書館の運営の基準について」の通達の中に「公立図書館は情報通信機器の整備による図書館サービスの提供、子どもの読書活動推進のための読み聞かせの実施、高齢者や障がい者に配慮した図書館サービスの充実、ボランティアの参加の推進等により豊かな図書館サービスの展開に努めること」と記載されており、全てのことを安曇野市は行っていて、こういった活動が、まだ、市民には十分に伝わっていないのではないかと思います。ぜひ、そういった活動を通して、PRしていただき、先ほど担任の話をしました。こういった活動を続けることによって、子どもたちだとか親だとか、高齢者などが安曇野市に生活して良かったとか、子どもが安曇野市に育って良かった、そういう故郷を愛する心を育てるという一貫を図書館活動が担っているんだろうなと思います。中央図書館長が事業計画の基本方針である「生涯学習の中核として云々」と話をしていましたが、やはり生涯学習の基本は公民館活動と図書館、そしてスポーツというところが担っていくのかなという印象を受けました。

(会長)

委員さんより感想をいただきました。他にございますでしょうか。

(委員)

この図書館は定年を迎えた方や専業主婦の方、お子様連れなどが多いです。24年、25年、26年と活動が拡充して充実してきていると思います。また、市には中央図書館のほかに分館も多い。どのくらい活動がされて、利用されているかなど、他の地方都市と横の比較をしてみるのも面白いのではと思います。先ほど、委員さんから男性、高齢者、障がい者、生涯学習という話題がでていましたが、先日テレビで、高齢者施設を学校のようにしたら、生き生きしてきて、やりがいを感じてきたと言っていました。このアイデアをどう図書館に取り込むかということですが、高齢者施設と連絡を取り合って、例えばスタッフを送り込むとか、施設には認知症の予備軍がたくさんいるはずですので、そういった皆さんが元気になっていくことにつながっていくのではと考えます。

(内田会長)

ありがとうございました。ご提案がありましたので、また、検討していただきたいと思います。  
以上で平成26年度第3回安曇野市図書館協議会を閉会します。

(以上で閉会)